

2026
10.27(火)

19:00 開演
(18:30 開場)

《旧第四銀行で聴く古楽コンサートシリーズ》その18

疾風怒濤を超えて — ベルリンが生んだ新しい感性

高田まちかど交流館(旧第四銀行 高田支店)

《会場所在地》新潟県上越市本町3-3-2

古楽器の音色が活きる旧第四銀行の空間で、
この秋は、ベルリン在住の荒木紅さんの演奏をお届けします。
当シリーズ 久びさのチェンバロ・ソロを
お聴き逃しなく!!



前売3500円 / 当日4000円 / 学生2500円

※60席※全自由席※ご予約はお早めに!

■主催・前売予約・問合せ / PAK
TEL.090-3573-8731(川合)
<https://sites.google.com/view/pak-dai4>

プログラム

W.F. バッハ ファンタジア 二短調 Falck19

C.P.E. バッハ ソナタ 第1番 イ短調

J.S. バッハ パルティータ 第4番 二長調 BWV828

J.P. キルンベルガー フーガ 第6番 二長調

ほか Ch. シャフラート、J.G. ゴルトベルクの作品など

18世紀半ば、ベルリンでは「人間の心の微妙な動きや感情を、より直接的に音楽で表現したい」と考える作曲家たちが現れます。その代表が、バッハの次男カール・フィリップ・エマヌエル・バッハです。彼は「魂から演奏しなければならない。訓練された鳥のように弾いてはいけない。」「演奏者自身が心を動かされていなければ、人の心を動かすことはできない。」という言葉を残しました。そこには、彼が大切にしていた『疾風怒濤 Empfindsamkeit』の精神が凝縮されています。その音楽と言葉は、後のモーツァルトやベートーヴェンにも大きな影響を与えました。

大バッハの揺るぎない音楽精神と、それを受け継ぎながら新たな時代へと発展させた息子たちやベルリンの作曲家たちの作品を通して、この時代ならではの豊かな表現世界をお届けできれば幸いです。

荒木 紅

荒木 紅 ARAKI Beni ／ チェンバロ Cembalo



桐朋学園大学にて鍋島元子氏にチェンバロを師事。卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院を経て、ベルギー王立アントワープ音楽院にてチェンバロとフォルテピアノをJ.ファン・インマゼール氏に師事、栄誉付き最優秀の成績で修了。さらにG.レオンハルト、オルガニストのL.-F.タリアヴィーニ各氏のもとで研鑽を重ねる。

現在ベルリンを拠点に、チェンバロ・フォルテピアノ奏者としてヨーロッパと日本を中心に国際的に演奏活動。これまでにアニメ・エテルナ・ブルージュ、ベルリン古楽アカデミー、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団ほか共演多数、また室内楽パートナーとしても高く評価され、A.マイヤー、S.アッツォリーニ、日下紗矢子らと共演を重ねるなど、室内楽奏者、通奏低音奏者としても幅広く活動している。その演奏は、歴史的演奏解釈に基づく、生き生きとした生命力、豊かな音色表現、そして自由で自然な音楽の流れを特徴としている。ヨーロッパ・日本の主要な音楽祭に出演しており、2026・2027年にはラインガウ音楽祭、リュネブルク・バッハ週間、グライフスヴァルト・バッハ週間への出演を予定。

ソニー・クラシカル、ドイツ・グラモフォン等のレーベルで録音多数。

近年の主な録音には、CD2枚組ソロ・アルバム『Bachissimo』、『Louis Ferdinand von Preussen - Klaviertrio & Klavierquartett』がある。また、E.T.A. ホフマンやJ. エルスネルのピアノ作品の世界初録音も手掛ける。演奏活動とともに、ベルリン芸術大学で後進の指導にもあたっている。

公式サイト <https://beniaraki-cembalo.de/>

公式YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UC1sPQrJP82KOaCoxRsACzjg>

当日会場では、演奏者CDの販売を行ないます。こちらもお楽しみに!